



第108回卒業式!!

17日の第108回卒業式では、最上級生の自覚を持ち、いつも模範として活躍してくれた6年生が、立派に巣立って行きました。「卒業生別れの言葉」では、一人ひとりの思いが伝わりました。最後に、5年生と一緒に歌った「大切なもの」は、会場中にこだまし、大きな拍手が沸き起こりました。担任の先生、子ども達の目に涙が光っていました。とても感動的な卒業式でした。

卒業式を支えてくれた5年生、ありがとうございました。
今日からは、皆さんが6年生が作り上げた中牟田小学校の伝統を引き継ぎ、リーダーとして頑張っていく番です。



卒業式の話

～心で見ようとしなければ、見えない大切なものとは～

(中略)

最上級生として自らを律する姿、リーダーシップはこれからも受け継がれ、中牟田小学校のよき伝統となることでしょう。

そのような皆さんに、私の好きな言葉を贈ります。「星の王子様」という物語の中で、王子が様々な旅を通して見つけた「大切なものは目に見えない。心で見ようとしなければ見えない。」という言葉です。

では、「心で見ようとしなければ、見えない大切なもの」とは、どんなことでしょうか。皆さんわかりますか。それは、皆さんのすぐ側にいる、人の思いです。

卒業生の皆さん六年間で、三万三千百八十三冊の本を読んでくれてありがとう。これからもたくさん本を読んでいろいろな世界を見つけてくださいね。・・・これは、一年生の時から皆さんに読み聞かせをしてくれたエルルさんの思い。

これからも、車に気をつけて元気に学校に通ってください・・・これは、雨の日も雪の日も通学路でいつも、皆さんを見守ってくれた地域の方々の思い。

6年生のような優しいお兄さん、お姉さんになりたい。中学校に行ってもずっと優しくて明るいお兄さん、お姉さんでいてください。・・・これは、在校生の思い。

中牟田小学校の児童であることに誇りを持ち、努力を惜しまず、頼もしい中学生になって下さい。・・・これは、担任の先生、そしてこの学校すべての先生の思い。

入学した時は、とても心配したけれど、すくすく成長してくれました。これからも家族に優しく、頑張り屋のあなたでいてください。・・・これは、あなたの家族の思い。

たくさんの思いに包まれながら卒業していく皆さん、たくさんの思いを受け止めながら、これからも、自分の夢や目標に向かってひたむきに、そして、あなたと出会う、あなたの側にいる人たちの優しさを大切に、一步一步、歩んでほしいと思います。

そして、数年後、数十年後、皆さんの目の前にある真っ白いキャンバスに「人生」という名の素晴らしい芸術作品が描かれていることを私は、楽しみにしています。

